

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に対する達成度

昨年事業申請を行なった、令和5年事業（R4.10.1～R5.9.30）が終了し、ここで令和5年度の実績報告と国へ事業評価の提出を行う。

1 補助要件

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金とは、「地域特性に応じた最適な生活交通ネットワークを確保維持するために、幹線の路線と密接な地域内のバス路線やデマンド路線の運行に対して支援するものであり、経常経費から経常収益を差し引いた額の1/2が補助される。当該補助要件の一つとして、補助対象期間の1回当たりの輸送量が2人以上の必要がある。

2 1回当たりの輸送量の実績

- ① 相和循環往路3便、6便は、1回の平均利用者数は7.8人、国庫補助金の補助対象となる。
- ② 相和循環復路5便は、1回の平均利用者数は8.5人、国庫補助金の補助対象となる。
- ③ 相和循環復路7便は、1回の平均利用者数は4.2人、国庫補助金の補助対象となる。
- ④ 西大井・金子循環4便は、1回の平均利用者数は1.8人である。
1回当たりの輸送量が2人以上の必要ため、国庫補助金の対象にならない。
- ⑤ 登下校ルート1便、8便、9便は、1回の平均利用者数は3.2人、国庫補助金の補助対象となる。
- ⑥ 登下校ルート2便は1回の平均利用者数は20.0人、国庫補助金の補助対象となる。

表1 1回当たりの輸送量（令和4年10月1日～令和5年9月30日）

	輸送人員	運行回数	1回当たりの輸送量
① 相和循環往路（3便、6便）	2,679人	342回	7.8人
② 相和循環復路（5便）	1,661人	196回	8.5人
③ 相和循環復路（7便）	619人	146回	4.2人
④ 西大井・金子循環（4便）	347人	193回	1.8人
⑤ 登下校ルート（1便、8便、9便）	1,972人	612回	3.2人
⑥ 登下校ルート（2便）	4,071人	204回	20.0人

・表 2 1 回当たりの輸送量の算出値の参考

参考① 輸送人員（令和 4 年 1 0 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日）

	相和循環				小計	西大井・金子循環 4 便 9 : 35 発	合計
	往路		復路				
	3 便	6 便	5 便	7 便			
	8 : 00 発	13 : 10 発	10 : 35 発	14 : 45 発			
合計	1,952	727	1,661	619	4,959	347	5,306
	2,679		1,661	619			

参考② 輸送人員（令和 4 年 1 0 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日）

	いこいの村あしがら～大井町役場（登下校ルート）				小計
	登校	下校		登校	
	1 便	8 便	9 便	2 便	
	6 : 06 発	15 : 57 発 ※1	※2	7 : 24 発	
合計	228	929	815	4,071	6,043
	1,972			4,071	

※1 4～9月…16：27 発、10～3月…15：57 発

※2 4月…18：10 発、5月…18：25 発、6・7月…18：40 発、9月…17：55 発、10・2月…17：25 発、11～1月…17：12 発、3月…17：40 発

参考③ 運行回数（令和 4 年 1 0 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日）

	相和循環				小計	西大井・金子循環 4 便	いこいの村あしがら～大井町役場 （登下校ルート）			
	往路		復路							
	3 便	6 便	5 便	7 便						
	196	146	196	146						
合計	342		193	146	684	193	204	204	204	204
							612			204